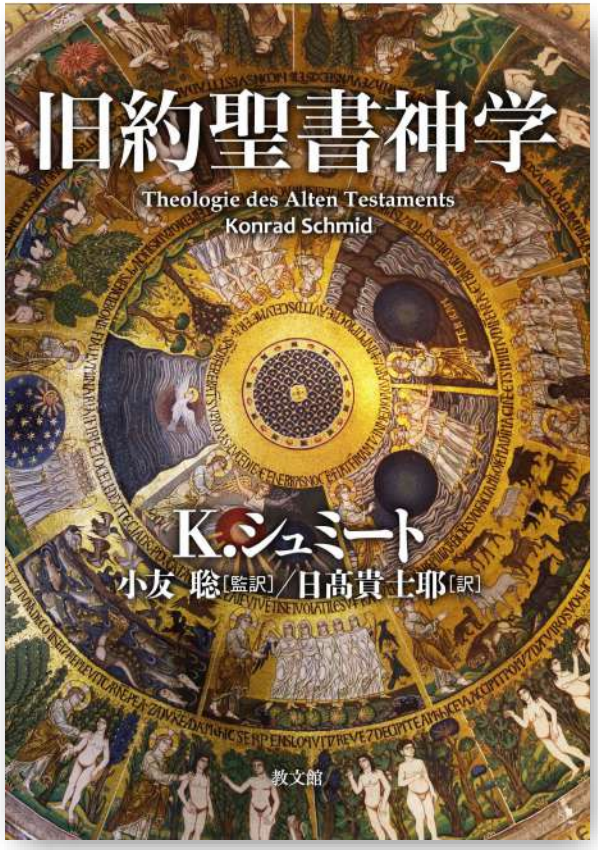

旧約聖書神学

K. シュミート[著]　**小友 聡**[監訳]　**日高貴士耶**[訳]

21世紀の旧約聖書神学の決定版！

歴史批判的研究は、旧約聖書テクストの多声性をどのように解明するのか？
その発展的加筆の跡には、イスラエルのいかなる神学的変遷を辿ることができるのか？

現在のスタンダードな研究成果を一望できる、研究者・学習者に必読の書。

［目次］

第1章　序論
第2章　神学概念の聖書への適用について
第3章　ヘブライ語聖書と旧約聖書
第4章　方法論の考察
第5章　現存する複数のヘブライ語聖書と複数の旧約聖書における諸神学
第6章　正典の3つの区分とその区分集成における諸神学
第7章　文学史に沿った神学史の基本路線
第8章　旧約聖書神学の諸テーマ
第9章　ヘブライ語聖書あるいは旧約聖書に関するユダヤ教神学あるいはキリスト教神学

著者紹介　**K. シュミート**　1965年生まれ。チューリッヒ大学教授（旧約学）。「ヨーロッパ神学学会」などの学会長を歴任。また「旧約学研究」（FAT）などの主要な研究書シリーズの編集委員を務める。現在、世界的に最も影響力のある旧約学者の1人。
著書　『旧約聖書文学史入門』（教文館、2013 年）、『聖書の成立』（Die Entstehung der Bibel, 2019）、『トーラーの書記たち』（The Scribes of the Torah: The Formation of the Pentateuch in Its Literary and Historical Contexts, 2023）ほか著書・編著・論文多数。

監訳者紹介　**小友 聡**　1956年生まれ。東京神学大学教授（旧約聖書学）。日本基督教団中村町教会牧師を兼務。
著書　『コヘレト書』（VTJ 旧約聖書注解）（日本キリスト教団出版局、2020年）、『コヘレトと黙示思想』（教文館、2023年）ほか著書・訳書多数。

訳者紹介　**日高貴士耶**　1994年生まれ。東京神学大学大学院修士課程修了。現在、スイス連邦政府奨学生としてチューリッヒ大学神学部博士課程に在学中。2023年、ヨーロッパ聖書学会博士学生賞EABS Student Prizeを受賞。
論文　『ペルシャ時代における YHWH 宗教諸グループのアイデンティティ形成と論争から分析するレビ記 26 章とエゼキエル書のゴラ中心的編集とディアスポラ中心的編集』“Leviticus 26 and the Pro-Babylonian-Golah and Pro-Diaspora Redactions in the Context of Identity Formation and Conflict of Yahwistic Groups in the Persian Period,” B. Hensel et al. ed., Social Groups behind Biblical Traditions（FAT 167), Mohr Siebeck, 2023, 205-223 ほか。
訳書　P. リクール／A. ラコック『聖書を考える』（共訳、教文館、2021 年）。

A5判・上製・608頁・定価8,140円（本体7,400円+税）ISBN978-4-7642-7475-4 C3016